

Motorsports Archives

モータースポーツ アーカイブ

2014年3月5日 創刊号

モータースポーツ部門委員会 アーカイブ活動の記録

ご挨拶

モータースポーツ部門委員会委員長

田中 尋真

当モータースポーツ部門委員会は、日本において、モータースポーツを自動車技術および文化の一分野として確立させ、その社会的認知を向上させるべく、2004年から活動を続けています。世界でも有数の自動車産業国であるにもかかわらず、日本でのモータースポーツに関する認知は海外に比べると依然として低い状況にあり、何とかそこを変えて行きたいとの思いで、委員会としても幅広い取り組みを行ってきました。

モータースポーツには、競技（スポーツ）としての側面、技術競争としての側面（量産車先行技術のテストの場、宣伝効果、技術者の育成などを含む）、興業（ショービジネス）としての側面などさまざまな顔があり、それらが渾然一体となって独自の魅力を作り上げていますが、他のスポーツと異なり、車両の性能自体が競争力の大きな部分を占めるという特徴があるため、独自の技術開発内容については、どうしても詳細な発表が控えられる傾向にあります。

また、モータースポーツを直接担当する現場レベルでは、日々の競争に集中するあまり、正確な事実や体系的な記録を残すことが、後回しとなりやすいことも事実です。

近年では、量産車とモータースポーツ車両に使われる技術が、それぞれ特殊化・専用化し、互いに関わり合いつつ離れて来ているとの指摘もありますが、将来効果の期待できる新しい技術は、モータ

ースポーツを通してノウハウが蓄積され、今後も実用化の形で世の中に還元されて行くことでしょう。

そのような具体的な技術と、それを生み出すモータースポーツの意義に対する理解を深めると共に、高度な集中力やチームワークを必要とする人間の活動としての素晴らしさも共有することが、モータースポーツの社会的認知向上には大切であると考えています。

近年、モータースポーツに限らず、特に若年層の「技術」「自動車」離れが指摘されていますが、改めてモータースポーツの認知を高めることが、それらの解決の一助にもなると思います。そのためには、モータースポーツ関係の情報が集約されておらずアクセスが容易ではないという現状を改善すると共に、過去からの貴重な情報を確実に次世代へ残してゆくことも求められます。

これらを踏まえて、モータースポーツ部門委員会では、その活動の一つの大きな柱として、2006年からモータースポーツ・アーカイブ活動を行ってきました。

今回、これらの取り組みの一端を知っていただけるように、この冊子を作成いたしました。皆様の御理解と御活用をいただければ、幸いです。

モータースポーツ・アーカイブ活動について

①アーカイブ分科会の発足と経緯

自動車技術会にモータースポーツ関係の開発を行っているエンジニアが集まりモータースポーツ部門委員会を設立しました。そして高度な先端技術を投入して競い合うモータースポーツ関連技術情報の交換や技術発表を行ってきました。

その活動の中で、モータースポーツ関連の技術は秘匿のベールに覆われたまま消滅していくものが多く、また、モータースポーツ関連の映像、車両は「行動」しないと失われていってしまうという現状に直面しました。特に映像は時間経過とともに劣化、消滅してしまいます。

さらには、日本のモータースポーツ創生期に活躍された方々も高齢化しており、これらについて資料等の管理者に対し保存の啓蒙と、委員会自ら記録することが必要であることを認識し、アーカイブ分科会を発足させ、活動が始まりました。その目的は

②活動内容の紹介

①各社の資料のリストアップ

各メーカー（国内自動車メーカー及びタイヤメーカー）が所蔵しているレース関係の文献、資料、動画、エンジンなどのコンポーネントおよび車両をリストアップしています。この中で特にビデオテープについては経年劣化が危惧されており、デジタル化等の保存処理が提起されました。

②モータースポーツシンポジウムの記録

今回で第11回を数える当委員会主催のモータースポーツシンポジウムは、「ここでしか話せない」貴重なものも多く、講演を動画で記録しています。



この動画についても、現時点では非公開としていますが、公開に向けての仕組みづくりを検討中です。なお、別項で紹介しているように、過去のシンポジウムの講演前刷りは、当会ホームページで検索、購入が可能です。

③インタビュー

当分科会では、日本のモータースポーツに貢献された方々へのインタビューを企画、実施してきました。本冊子で紹介するのは、1973年に日本車として初めてル・マン24時間レースに自社開発のレース車で参戦されたSARDの加藤眞氏、日産ヘリテージ

・自動車技術会誌の年鑑号に、モータースポーツ分野について寄稿し、動向を記録に残す。

・企画するシンポジウムで、積極的な技術発表の場を提供すると共に、アーカイブ要素のある講演を含め、記録として写真及びビデオ映像を保管する。

・モータースポーツ関係者（特に自動車メーカー）の記録保存の意識を高め、散逸を防ぐ。

・様々な場所に保管されたり、過去に発表されているモータースポーツ関係の情報や資料を、活用しやすい様に一覧出来る仕組みを検討する。

・モータースポーツ活動の当事者ならではの、貴重な体験をお持ちの方々にインタビューを実施し、記録に残す。

等が挙げられます。

コレクションを始めとするレース関連資料保存に尽力されている日置和夫氏、日本のレース黎明期から弁護士としての立場で関わってこられた森美樹氏そして、1968年の入社以来一貫してレースに関わってこられた柿元邦彦氏へのインタビューです。実際のインタビューの多くは長時間、より具体的なものであり、本冊子ではその抄録を紹介しています。

④資料及びリンク集の整理、公開

モータースポーツ関連の技術論文、インタビュー等を検索するための一助とするために資料の一覧やリンク一覧を整理、公開しています。

参考資料 日本のモータースポーツ黎明期年表
1955年からの浅間火山レース（日本国内レースの出発点）
1958年日産（難波靖治氏）がオーストラリア・モービルガス・トライアルに出場、クラス優勝（初の国際レース優勝）
1959年ホンダがマン島TTレースに参戦して入賞（その後継続参戦、優勝）
1959年の第一回日本アルペンラリー（森美樹氏が関係する）
1962年鈴鹿サーキット完成（現在でもドライバーが最も好きなサーキットの一つ）
1963年第一回日本グランプリ自動車レース（国産ワークスの対決）
1966年富士スピードウェイ完成
1973年シグマ(現SARD=加藤眞氏) によるル・マン24時間レース挑戦開始。
1976年F1世界選手権インジャパン
1978年鈴鹿8耐レース

自動車メーカーのモータースポーツ・アーカイブ活動

日置和夫氏に聞く 日産自動車の活動

長年モータースポーツ活動を行っている自動車メーカーは過去の資料などをどのように保管、管理しているのだろうか
日産自動車の現状を日産OBであり
現在日本モータースポーツ推進機構理事長の
日置和夫氏に伺った

——日産自動車のアーカイブ活動について

「日産自動車の歴史をつなぐ活動として、主に日産OBが中心になってアーカイブ活動を行っています。モータースポーツについては私が中心となり、過去のモータースポーツ活動について、残っている資料などを整理し、かつてのデータや当時の考え方を形として残し、繋いでいきたいと考えています」

——具体的にはどのような作業を行っていますか

「日産（ダットサン）系とプリンス系に分類して、それぞれ先人の方々にお話しを聞き、それらをインタビューとしてまとめています。また、それに関連した資料をデータベース化して、内容の充実と体系的な資料作りを目指しています。

日産系のモータースポーツに関する資料は、追浜に保管している当時のクルマに関するものを中心に集めてデータベース化しています。しかしプリンス系は日産との合併後かなりの資料が廃棄または散逸していて、関係OBが個人的にお持ちの資料や写真を御提供いただき、データベース化を進めています」

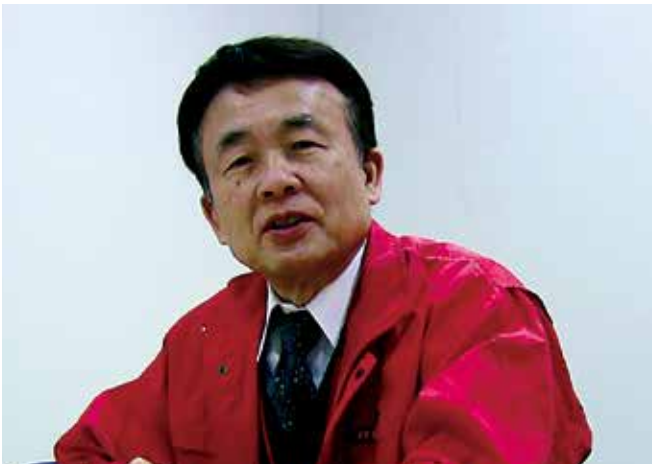
——現状はどのように、どこまで進んでいますか

「1958年の豪州ラリー、そして第1回日本グランプリ、第2回日本グランプリまでまとめ終わったところ です。そしてレースやラリーに関して70年代から80年代、84年にNISMOができるまでのモータースポーツ活動を第一段階としてまとめようと思っています」

——昔のものを集めたり、まとめられる上でのご苦労とは
「残っている資料とインタビューの両建てで収集を進めていて、インタビューさせていただいた方がお持ちの物も合わせながら進めていますが、基本的に残っているものは多くはありません。廃棄やシステムの変更など、それらのものを残しておくという習慣やシステムがなかったですからね。ただし、まだお話しを伺える方や我々のように多少は関わった人間が残っているうちでないと、絶対にできない作業です。『いまやらないと』という気持ちが強いですね」

——そのようにしてまとめられた物は、どのように使われるのですか

「同じようにして、モータースポーツだけでなく様々な資料やデータをOBが中心となって収集していますが、それらはNTC(日産テクニカルセンター)の中にアーカイブ室という部屋を設け



●日置和夫	
1947年	1月12日生まれ
1969年	茨城大学工学部精密工学科卒業後日産自動車入社 第5機関設計部配属(軽量のエンジン設計) G型エンジンの設計(G18、20、GR8、S20、GRX)に関わる。 '69年日本GPに向けてV12気筒(GRX)の開発に参加。
1971年	中央研究所排気研究部へ異動 急速燃焼、触媒システムの車両評価実験担当
1976年	海外サービス部へ異動
1979年	米国日産出向 技術部担当 米国日産のモータースポーツ活動の支援を行う (IMSA, SCCA)に向けての280Z, 300Z, GT-P)
1984年	海外サービス部へ帰任 中近東担当主担
1985年	海外サービス部 大洋州、極東担当主担 この間タイに長期出張時パタヤで行われたタイグランプリを支援 (S12 JSS仕様で出場)
1987年	品質保証部へ異動 産間工場、愛知機械担当主担(サニー、サンタナ、ラルゴ等)
1988年	スポーツ車両開発センターへ異動 スポーツ車両開発課(追浜地区) 課長 R32GT-R GrA、N14GT-R ラリー-GrA開発
1990年	ニッサン モータースポーツ インターナショナル出向 技術部担当部長 主にツーリングカー(R32GT-R GrA、N)、ラリー(N14GT-R)、 ワンメークレース(K11,S13、ザウルス)他を担当
1992年	同社取締役役に就任
1995年	全てのモータースポーツ車両の開発を担当。 ニッサン モータースポーツ ヨーロッパ出向 社長 BTCC 2連覇(98、99)、英国国内ラリー選手権シリーズチャンピオン(95、97)、 ドイツツーリングカー選手権(95から97)、 スペインツーリングカー選手権(97まで)、ワールドシリーズBy日産(98から)、 欧州各国のモータースポーツ活動コーディネート
2000年	COOオフィス グローバルモータースポーツ プログラム ディレクター 就任 (新組織として日産社内に設定されたポジション。これにより、 それまで存在したモータースポーツ部は廃止された。)
2002年	ニッサンモータースポーツインターナショナル(株)へ転籍 同時に取締役就任 部用品開発・販売を担当
2005年	同社取締役退任 嘱託となり現在に至る

てもらい、そこで保管されています。基本的に社内での閲覧は可能です。集められたものはいろいろな制約がある物もあるので一応『社外秘』となっています」

——それらを公開する予定はありますか

「公開や活用については、これからの課題のひとつです。せっかく集めた物、まとめられたものですから有効に使って欲しいと思います。ただ、現状その方法やルールは検討中で、まだ決まっていないことが多いのが現状です。ご覧になりたい場合や、お問い合わせについては日産自動車広報部が窓口になっていると思います」

——それらが有効に使われるといいですね

「収集やまとめを進めていますが、まだ誰でも分かるように完璧に整理、データベース化されているわけではありません。ですので、ある程度分かっている人が探したり、人の記憶に頼らなければならない部分も多いのが実情です。それも今後の課題のひとつですね。他のメーカーの方ともアーカイブについていろいろな意見交換や情報交換をしますが、日産は他に比べれば残っている物が多いと思います。また、アーカイブ活動についても、これまでお話ししたように地味ではあるが続いています。『いまやらないと』という状況は日産だけではないと思います。これからの日本のモータースポーツのためにも、このような活動が広がっていくことを望んでいます」

●モータースポーツ・シンポジウム講演一覧

2004	BMWの耐久レース用ターボディーゼルエンジン最強のBMWディーゼルレース車ー	山根 健、フリッツ シュタインバルツァー 他	
	レース用タイヤ技術ーF1参戦の知名度向上効果ー	浜島 裕英	
	モータースポーツの歴史と文化	飯田 一	
	口頭発表のみ	増岡 浩	
	スバルにおけるWRC技術の開発	下山 浩、八崎 和倫	
	トヨタCARTプロジェクト紹介	南方 利城	
	GT用スーブラの開発	佐藤 直樹	
2005	Nismo のレースマネジメントとピットワーク	出川 洋、小河原 宏一、渡辺 武彦	
	ラリージャパンあれこれ	後藤 純一	
	フォーミュラ1へのBMWの参加	マリオ タイセン、山根 健	
	データ収録システムを利用したレース用モーターサイクルの開発	河合 一哲	
	モータースポーツの社会的意義	田中 秀尚	
	ルマン24時間レースへの挑戦	郷 和道、荒 聖治	
	富士スピードウェイの改修について	小和田 一郎	
	レーシングカーの空力開発	奥 明栄	
	モータースポーツにおけるメディアの存在	高橋 二郎	
	SAE工学教育とフォーミュ	石濱 正男	
2006	レースにおける救出活動	室賀 良久、新海 幸弥、伊藤 直次郎	
	04年型Z33JAF-GT仕様車の開発	阿部 正壽	
	2005年HONDA F1 Engineの紹介	山本 和司	
	レース車両における衝突安全 ーHANSとシートベルトについての考察ー	晝田 満彦	
	Formula TOYOTA RACING SCHOOL	関谷 正徳	
	モトGPレーシングエンジンの開発	矢部 昇	
	実車タイヤ特性計測実車	渡辺 晋	
	モータースポーツ用エンジンオイルの開発	新井 克矢	
	マスメディアからみたモータースポーツ	小島 雅生	
	偉大な草レース・ルマンとその歴史	黒井 尚志	
2007	パネルディスカッション スポーティブントについて	加治 次郎、田中 秀尚、広瀬 一郎、中島 悟	
	ハイブリッド・レースの可能性を求めて (PPT資料)	村田 久武	
	モータースポーツ産業の現状と将来シナリオ (PPT資料)	田中 秀尚	
	日本のF1元年[F1 in Japan]1976年富士スピードウェイ (PPT資料)	今宮 純、長谷見 昌弘、星野 一義、高原 敬武	
	F1レギュレーションと技術の変遷	田中 尋真	
	トヨタF1のすべて	高橋 敬三	
	F1 (Formula One)タイヤ開発	浜島 裕英	
	スーパーアグリF1の戦い	鈴木 亜久里	
	F-1 放映20年フジTV	舟木 正也	
	【パネルディスカッション】F-1技術の過去・現在・未来 F-駆動システムの技術トレンド	森脇 基恭、青木 朗雄、徳永 直紀	
2008	4ストロークエンジントライアル車の開発	黒川 雅也	
	世界への挑戦ー上智大学レーシングカーデザインー	鈴木 隆、小栗 康文	
	TheV12 TDI for the 24th of Le Mans - Victory of an idea-	Thomas Weidlich、阿部 健	
	【特別講演】日本人F1ドライバーの挑戦	佐藤 琢磨	
	トヨタ フォーミュラニッポン エンジンの開発	松浦 幸三	
	レーシングカーとコンボジット	奥 明栄	
	JAFのモータースポーツへの取り組み (PPT資料)	田中 秀樹	
	【パネルディスカッション】グループCを語る。	森脇 基恭、林 義正、斉藤 治彦、水野 和敏、小早川 隆治	
	NASCARとアメリカ市場	杉浦 靖彦	
	WTCCの紹介WTCCの紹介WTCCの紹介	小林 勇一	
2009	日本自動車レース工業会は日本の自動車レースを改革できるか？	林 みのる	
	東海大学ル・マンチャレンジ東海大学ル・マンチャレンジ	林 義正	
	ルマンプロトタイプ空力プロトタイプ空力	奥 明栄	
	Judd Le Mans24時間レース用エンジンJudd Le Mans24時間レース用エンジン	金田 博行	
	GTドライバーの生理学GTドライバーの生理学	高橋 規一	
	【パネルディスカッション】「ルマンの魅力」	両角 岳彦、寺田 陽二郎、関谷 正徳、伊藤 大輔、柿元 邦彦	
	レギュレーション動向	林 博美	
	F1ハイブリッドシステムの開発F1ハイブリッドシステムの開発	喜多 真佐人	
	エアコンを使用したレースカー用ドライバークーリングシステムの開発	竹崎 大輔、鈴木 豊、	
	アセアンにおける2輪モータースポーツに現状と将来 (PPT資料)	小林 興次	
2010	NATSでのモータースポーツへの取り組み	林 英伸、長岡 正貴夫	
	トヨタの若手ドライバー育成・支援活動トヨタの若手ドライバー育成・支援活動	関谷 正徳	
	【対談】History of ARTA【対談】History of ARTA	鈴木 亜久里	
	【パネルディスカッション】日本人ドライバーの育成と将来	小俣 雅史、福江 剛司、長谷見 昌弘、関谷 正徳、鈴木 亜久里、田中 利和	
	EV モータースポーツの動向	進士 守	
	F-1車両開発(トヨタTF109の開発)	新居 章年	
	F-1空力開発	南方利城	
	モータースポーツアーカイブズ報告	山根 健、柿元 邦彦、;福江 剛司、寺田 寛、長谷見 昌宏、村田 浩一	
	軽量・高効率F-1(ウオーター)ラジエータの開発	廣政直紀、岩井 淳	
	F-1用エンジンの開発と材料技術	遠藤 一、湊 定美	
2011	F-1用シームレスシフトの開発	内山 威、吉岡 尚、久保 勝巳、松井 亮	
	F-1用タイヤ開発	浜島 裕英	
	F1 求められる変革	赤井 邦彦	
	トヨタCARTエンジン開発秘話	河北 耕作	
	幻となったF1 RA109空力開発	小川 厚	
	MotoGP レーサ用姿勢角センサの開発と活用事例	井野 光泰	
	バッテリーレス燃料噴射モトクロスサーの開発	石部 訓章	
	スバルWRCarの空力開発	下山 浩	
	NISSAN GT-RでのFIA GT1世界選手権への挑戦	亀井 泰治	
	中嶋 悟・中嶋 一貴 親子対談「世界に挑戦した日本人ドライバー、中嶋親子の戦い」	中嶋 悟、中嶋 一貴、金子 博	
2012	Mazda Motor Sports History (PPT資料)	山本 修弘	
	トヨタ レース用ハイブリッドシステムの開発	石田 竜太	
	WTCC CIVIC 用エンジンの開発	平山 直人、佐伯 昌浩	
	日産VK45-LMP2 エンジンの開発	福田 健夫、石川 裕造、進士 守	
	GT300 プライベーター参戦記	鈴木 康昭	
	2012年YZR-M1開発-1000cc化で何が変わったか	辻 幸一	
	【対談】開発担当者が語る、次世代レーシングエンジンの胎動		
	ー新規格2L直噴ターボエンジンは日本のレースを変えるかー	小倉 茂徳、石川 裕造、坂井 典次、永井 洋治	
	2013		

●自動車技術掲載モータースポーツ関連記事

1983年10月発行 Vol.37 No.10	モータースポーツと車両	犬丸令門	
1986年1月発行 Vol.40 No.1	モータースポーツの現状と将来	難波靖治	
1986年5月発行 Vol.40 No.5	モータースポーツの現状と将来	片山豊	
1996年6月発行 Vol.50 No.6	スーパーツーリングへの挑戦	桐山隆、秋元勝也	
	インディカーレース用エンジンHRHの開発	長弘憲一、藤吉美広、松本弥寸嗣	
	WRCラリー車の開発	山本祥二	
	SWC用3.5ℓNAエンジンの開発	戸佐直己、村田久武、遠藤理、長谷川伸	
	N1 耐久参戦車両のシャシ電制システムの開発	山洞博司	
	レース月エンジンの出力特性修正に関する一考察	小川宗一郎、功力隆、加藤学	
	GPロードレーサー開発の歴史	鈴木隆行	
	モータースポーツ 今と昔	高橋国光	
	新世代の複合サーキット(ツインリンク)	高桑元	
	'80年仕後半〜'90年代のモトクロス世界選手権体験記	橋本孝士	
2000年2月発行 Vol.54 No.2	ルマン仕様GT車両の開発参戦記	加藤学、中村信夫、水野和敏、柿元邦意、加治次郎	
	フォーミュラスクールカーの開発とその要素技術	橋本正	
	モータースポーツ用ターボについて	小池尚昭	
	WRC用ラリー車の駆動系開発	石田竜太、田中泰男、稲垣秋介	
	レーシングタイヤの要求特性	浜島裕英	
	超軽量バケットシートの開発	大島正敏	
	ルマン24時間レースに対するエレクトロニクス技術の適用	進士守、執行英俊、井本質也	
	モータースポーツで育まれた市販車の要素技術	稲垣秋介、岡本高光、四方寛、山詞博司、羽山富士夫	
	最近のモータースポーツにおける最新技術の動向 ーエンジンの視点から見た技術動向ー	岡本高光	
	2005年9月発行 Vol.59 No.9	GT用NAエンジンの開発	松井龍一
JGTC-GT500用VQエンジンの開発		成富健一郎、江嶋陸仁	
WRCエンジンの高効率化		新井泉、柴山隆、木戸真二	
2006年7月発行 Vol.60 No.7		モータースポーツエンジニア	稲垣秋介
2006年8月発行 Vol.60 No.8		モータースポーツ	柿元邦彦、田中尋真
2007年1月発行 Vol.61 No.1		4サイクルモトクロスレーザ"YZ400F"の開発	中山蕃晴
		モトクロスレーザRM	影山実
2007年3月発行 Vol.61 No.3		モータースポーツ文化の育成	田中秀樹
2007年8月発行 Vol.61 No.8		モータースポーツ	柿元邦彦、山根健
2007年9月発行 Vol.61 No.9		ラリーの世界とパワーユニットの進化	工藤一郎
2008年8月発行 Vol.62 No.8	モータースポーツ	柿元邦彦、木村隆昭、田中秀尚、田中尋真、小栗康文	
2008年9月発行 Vol.62 No.9	スポーツカート専用エンジンKX21の紹介	伊藤隆洋、古屋影、宮崎了	
2009年1月発行 Vol.63 No.1	モータースポーツへの取組みとその将来	小俣雅史、古沢政生、橋本健、飯島嘉隆、高橋敬三、鳴村誠、林みのる	
2009年8月発行 Vol.63 No.8	モータースポーツ	木村隆昭、林博美、田中尋真	
2009年9月発行 Vol.63 No.9	最近の競技用ソーラーカー事情	中川邦夫	
2009年10月発行 Vol.63 No.10	世界と日本のモータースポーツ	樋山良毅	
	モータースポーツで培ったチャレンジ精神	片山右京	
	F1への挑戦?空力開発の最新事情	一之瀬健一、福島淳一	
	世界ラリー選手権参戦の総括	嶋村誠、小澤正弘、戸叶大輔、下山浩、鈴木敦、萩原博	
	ル・マン24時間レースへの挑戦	林義正	
	モトGPへの挑戦	中島雅彦	
	ダカールラリーの歴史と日野レーシングトラックの挑戦	菅原照仁	
	日本の自動車レースの中のF20	林みのる	
	ル・マンプロトタイプ開発と今後の技術動向	奥明栄、西友友宏、湯地浩志、亀田慎哉、阿部泰明	
	エアコンを使用したレースカー用ドライバークーリングシステムの開発	鈴木豊、竹崎大輔、高橋規一	
2010年8月発行 Vol.64 No.8	バリダカ用 2WDモータサイクルの開発	早崎良明	
	モータースポーツ用タイヤの開発	浜島裕英	
	二輪モータースポーツを通して開発され市販車に適用した技術	鴨宮保雄	
	GTドライバの生理	高橋規一	
	Supr-GTにおけるレースメディカル&レスキューの紹介	三浦勝、高橋規一、南洋一	
	2010年11月発行 Vol.64 No.11	モータースポーツ	田中尋真、松井龍一、古澤新一郎、浜島裕英、寺田寛
	2011年8月発行 Vol.65 No.8	第8回全日本学生フォーミュラ大会レポート	小野昌朗、高山明正、中野友
	2011年10月発行 Vol.65 No.10	モータースポーツ	田中尋真、石川裕造、田口雅生、辻幸一、谷川利晴
	学生フォーミュラ活動を通じた人材育成 ー東大フォミュラファクトリーにおけるものづくり教育ー	草加浩平	
	2012年8月発行 Vol.66 No.8	モータースポーツ	田中尋真、石川裕造、佐伯光俊、林博美
2013年4月発行 Vol.67 No.4	レース用タイヤの特性	秋山一郎	

モータースポーツ文献 リンク集

自動車技術会モータースポーツ・シンポジウム予稿集

- 2004 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st200409-EC1
2005 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st200503-EC1
2006 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st200607-EC1
2007 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st200622-EC1
2008 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st200717-EC1
2009 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st200812-E01
2010 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st200921-E01
2011 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st201011-E01
2012 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st201117-E01
2013 ▶ http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/particulars.asp?content_id=JSAE-st201211-E01

自動車技術会文献検索サービス <http://www.bookpark.ne.jp/cm/jsae/dsearch.asp?table=JSAP>

自動車技術を築いた
リーディングエンジニア(インタビュー) <https://www.jsae.or.jp/interview/>

ホンダ、久米是志氏 <http://www.jsae.or.jp/~dat1/interview/interview040212.pdf>

レース結果

第1回日本アルペンラリー <http://people-power.jp/hup0801/rally/alpinerally.html>
JAFレース結果検索 <http://www.jaf.or.jp/msports/results/n-race/>

レース関連機関(レースチーム等へのサブリンクもあります)

JAF Motorsports <http://www.jaf.or.jp/msports/>
日本モータースポーツ推進機 <http://www.motorsport-japan.com/goldstar>
スーパーGT <http://supergt.net/>

メーカー関連(ホームページ、技術情報など)

トヨタモータースポーツ <http://ms.toyota.co.jp/jp/>
Mega Web ヒストリーガレージ http://www.megaweb.gr.jp/area/historic/gp_archive.html
ホンダモータースポーツ <http://www.honda.co.jp/motorsports/>
ホンダコレクションホール <http://www.twinring.jp/collection-hall/>
日産モータースポーツ <http://www.nissan-motorsports.com/JPN/>
日産ヘリテージコレクション <http://www.nissan-global.com/JP/REPORTS/2011/05/110513.html>
スバルモータースポーツ <http://www.subaru-msm.com/>
マツダスピードモータースポーツ <http://www.mazdamotorsports.com/webapp/wcs/stores/servlet/StoreView?langId=-1&storeId=10001&catalogId=10001>
三菱自動車モータースポーツ <http://www.mitsubishi-motors.co.jp/motorsports/>
スズキレーシング <http://www.suzuki-racing.com/>
ヤマハレース情報 <http://global.yamaha-motor.com/jp/race/>
ブリヂストンモータースポーツ http://ms.bridgestone.co.jp/hp/bsms_index
ダンロップモータースポーツ <http://mos.dunlop.co.jp/>
ヨコハマモータースポーツ http://advan.com/japanese/motor_sports/index.html
デンソーモータースポーツ <http://www.densomotorsports.jp/>
ZFモータースポーツ <http://www.zfmotorsports.jp/>